

2023 年度事業報告

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

I. 概要

1 総括

2023 年度は、情報通信分野における標準化の推進と情報通信ネットワークの発展への引き続きの貢献のため、情報通信ネットワークに係る標準の作成、調査、普及等の活動を行った。また、デジタルトランスフォーメーション(DX: Digital Transformation)の普及による情報通信技術(ICT: Information and Communication Technology)の活用の広がりや、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の第 5 類感染症移行に伴う経済活動、生活様式の多様化等の社会変化に対応し、業際分野での活動や他団体等との連携・協力活動に注力し、標準の作成にとどまらない戦略的な標準化活動に取り組んだ。さらに、日本における標準化活動者の固定化、減少等の課題に対し、日本全体での解決策を見出すため、標準化教育や人材育成に関する産学官、組織横断での2023年度限りの検討会としてキャパシティビルディングアドバイザーグループを新設し、調査や今後の対応方針の策定等を行った。

2 組織

2023 年度の組織構成は表 1 の通り。

表 1 組織

総会	TTC の正会員によって構成し、役員の選任、当該年度の貸借対照表、正味財産増減計算書の承認、定款の変更等を決定する。
理事会	TTC の役員で構成し、TTC の業務執行に関わる決定を行う。
評議会	標準の作成手続きを審査するほか、理事会が必要と認めた重要な事項について理事会の諮問に応じる。
表彰選考委員会	情報通信技術賞(総務大臣表彰、TTC 会長表彰)の候補者の選考を行い理事会に報告する。
事務局	TTC の円滑な業務遂行を支援する。
業際イノベーション本部	ICT 分野の活性化に資する業際的なイノベーションに関する動向調査、課題の発掘並びに戦略の検討を行う。
IPR 委員会	TTC 標準に係わる IPR に関する基本指針の制定、改定案の作成とそれらの理事会への付議、関連標準化機関等との IPR 分野における連携、国内外における IPR の動向に関する調査・研究等を行う。

標準化会議	情報通信ネットワークに係る標準の審議、情報通信ネットワークに係る調査及び研究等を行う。専門委員会で作成した標準案に対し、標準化会議委員が投票を行い提案の標準案の採否が決定される。
専門委員会	標準化活動を行う母体で、最新技術分野・テーマについて情報収集が議論の場を設けている。
企画戦略委員会	TTC の中期標準化戦略の策定、重点課題の設定、専門委員会の統廃合、および標準化団体との国際連携活動等、TTC の将来的な標準化活動戦略を立案する。
アドバイザリーグループ	重点課題を検討するための組織で技術調査と国際連携、キャパシティビルディングの3つのグループがある。 (キャパシティビルディングアドバイザリーグループは 2023 年度の1年間の活動)

II. 事業報告

1 企画戦略

1.1 企画戦略委員会

1.1.1 会合開催状況

企画戦略委員会は、第 167 回から第 175 回の計 9 回の会議を実施した。2024 年 1 月に開催した拡大形式の企画戦略委員会では、専門委員会の正副委員長およびアドバイザーグループ(AG: Advisory Group)のリーダサブリーダ参加のもと拡大形式にて 2024 年度中期標準化戦略案の審議を行った。(別紙 1)

表 2 企画戦略委員会の開催状況

開催回	開催日	主な議題
第 167 回	2023.4.7	功労賞選考、2023 年度企画戦略委員会活動計画
第 168 回	2023.5.25	専門委員会活動状況ヒアリング項目、標準化人材育成検討
第 169 回	2023.6.29	担当専門委員会・AG、企画戦略委員会の活動計画、標準化会議予定
第 170 回	2023.7.21	標準化人材育成対応状況共有
第 171 回	2023.9.29	専門委員会・AGの活動状況共有
第 172 回	2023.10.25	専門委員会・AGの活動状況共有を踏まえた対応検討
第 173 回	2023.11.29	中期標準化戦略策定方針審議
第 174 回	2023.12.21	フォーラム調査2023中間報告、2024年事業計画案
第 175 回	2024.1.18 (拡大形式)	2024年度事業計画(案)、専門委員会・AGの中期標準化戦略(2024年度)(案)、専門委員会活動状況の取りまとめ結果と今後の対応について

1.1.2 主な活動成果

- ・ 標準化活動に関わる人材の育成や教育に関する課題検討のための時限的な組織をキャパシティビルディングアドバイザーグループ(CBAG)として新設し、2023 年 4 月より活動を開始した。
- ・ CBAG での検討と並行し、企画戦略委員の所属企業での標準化人材の育成状況の調査、企画戦略委員会内での共有、課題点の議論を実施。専門委員会へのヒアリングで抽出された人材に関する課題とあわせて、CBAG の活動と連携した人材育成の対応検討を推進。
- ・ 情報規格調査会との連絡会を実施(2023 年 7 月)。連絡会での意見交換結果等を踏まえ、両組織での共通課題であり社会的に関心の高い GX(グリーントランスフォーメーション)をテーマとしたセミナーを共催にて開催した。(2024 年 1 月)
- ・ 専門委員会へのヒアリング結果等を踏まえ、専門委員会を横断するテーマを取り上げ、掘り下げた検討活動を新たに実施する方針を策定。

1.2 アドバイザリーグループ

1.2.1 技術調査アドバイザリーグループ

戦略的な標準化活動実現のため、海外の主要なフォーラム標準化活動の最新動向を調査、分析し、調査結果を「TTC フォーラム調査報告書(第 30 版)」として展開。近年団体の設立が相次いだデジタルツイン・メタバース関連より5フォーラム(MSF, OMeF, MVJ, VRMC, VRARA)を新たに調査対象とした。また Beyond5G/6G、NTF、IoT 関連からそれぞれ1フォーラムずつ(6G-IA, JCBI, ioXt)新規に調査対象とした。

表 3 TTC フォーラム調査報告書(第30版)概要

対象フォーラム	73(調査終了 6、新規 8)
注目分野	①IoT・スマートシティ ②5G、Beyond5G/6G ③コネクテッド・カー ④SDN/NFV ⑤デジタルツイン・メタバース
広報活動	企画戦略委員会および専門委員会に展開 ホームページ 2.14 公開、TTC レポート(2024 年 4 月号)掲載

1.2.2 国際連携アドバイザリーグループ

- ・ ITU-T TSAG(電気通信標準化アドバイザリーグループ)第 2 回会合(2023 年 5 月)及び第3回会合(2024 年 1 月)における寄書提出、並びに対処方針審議等国内議論を推進。また TSAG 会合で議論された主なトピックスについて TTC レポート等を通じて国内にフィードバック。

1.2.3 キャパシティビルディングアドバイザリーグループ

2023 年 4 月に、標準化人材の育成・拡大や標準化教育および標準化活動の質の向上のための組織横断での検討会として、以下成果物を目標に活動を開始し、2024 年 3 月末に、当初予定通り活動を終了。

- ・ 国内外の標準化人材育成に関する調査、ランドスケープ作成
- ・ 標準化人材のスキルマップや標準化成功事例集等の情報の体系化
- ・ 国内の標準化活動活性化に資する人材育成等のプログラム及びアクションプランの作成および関係各所への提案

キャパシティビルディングアドバイザリーグループ(CBAG)は準備会合2回を経て、本会合を月1回、全 12 回実施した。

主な活動内容および成果は以下の通り。

- ・ 省庁、標準化団体等での標準化人材育成に関する取り組み調査
- ・ TTC 会員に対するアンケート調査、企業への個別ヒアリング
- ・ 大学での標準化教育の実施状況調査

- ・ 標準化能力育成のためのフレームワーク骨子作成
- ・ ワークショップでの情報収集・啓発活動
- ・ 関連団体等への連携の働きかけ、意見交換、情報収集

2 標準化活動

2.1 標準化会議

2.1.1 会議開催状況

標準化会議は、第 141 回から第 145 回の計 5 回の会議を実施した。第 141 回、第 143 回、第 144 回において電子投票にて標準の制改定手続きを行ったが、第 142 回は提出された標準案(新規、改定、廃止)は無かったため、中止となった。第 145 回は集会形式にて各専門委員会の 2024 年度中期標準化戦略を承認した。

表 4 標準化会議の開催状況

開催回	開催形式	開催日
第 141 回	投票	2023.3.3~5.18
第 142 回	中止	
第 143 回	投票	2023.9.8~11.9
第 144 回	投票	2023.12.1~2024.2.15
第 145 回	集会(オンライン)	2024.2.13

2.1.2 主な活動成果

- ・ 世界貿易機関(WTO)の TBT 協定(Agreement on Technical Barriers to Trade)を尊重し、標準案リストの Web 公開、標準案の提示から決定までの期間を 60 日間確保するなど公正性、中立性、透明性を配慮した標準の制改定手続きを行い、当年度は 3 件の標準制定、7 件の標準改定を実施。(別紙 2)
- ・ 2024 年 2 月 13 日に開催した第 145 回標準化会議で、各専門委員会の 2024 年度中期標準化戦略を承認。

2.2 専門委員会

2.2.1 構成

2023 年度は5つの部門、18 の専門委員会の構成で標準化活動を行った。(別紙 3)

表 5 専門委員会の構成

部門	専門委員会	統廃合状況
ICT 活用 アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	継続
	IPTV SWG	ILE-SWG と 併合(2023 年 4 月)

		メディア符号化・通信 SWG	廃止(2024年3月)
		電子情報健康管理 SWG(e-health-swg)	継続
		アクセシビリティ SWG	
		ILE-SWG	
		マシンビジョン SWG	
		コネクテッド・カー専門委員会	継続
		BSG 専門委員会	継続
		IoT・スマートシティ専門委員会	継続
		ICTと気候変動 SWG	
プラットフォーム		AI活用専門委員会	継続
		oneM2M 専門委員会	継続
		セキュリティ専門委員会	継続
		企業ネットワーク専門委員会	継続
		企業網インタフェース SWG	
		消防指令システム SWG	
プロトコル・NW管理・品質		信号制御専門委員会	継続
		SIP SWG	
		NGN 信号アップストリーム SWG	
		網管理専門委員会	継続
		通信ネットワーク運用管理 SWG	
		通信サービス品質評価 SWG	
		番号計画専門委員会	継続
アーキテクチャー		Network Vision 専門委員会	継続
		NGN アップストリーム SWG	
		QoS アーキテクチャ SWG	
		NetSoft SWG	
		3GPP 専門委員会	継続
		サービス・システムアспект SWG	
		コアネットワーク SWG	
		無線アクセスネットワーク SWG	
		移動通信網マネジメント専門委員会	継続
	トランスポート・アクセス・エリア		IoT エリアネットワーク専門委員会
		通信インタフェース SWG	

NW		サービスプラットフォーム SWG	継続
		伝送網・電磁環境専門委員会	
		装置機能・管理 SWG	
		多重分離インタフェースと網同期 SWG	
		情報通信装置の EMC・ソフトエラー SWG	
		アクセス網専門委員会	継続
		次世代光アクセス網 SWG	
		ハイブリッドアクセス網 SWG	
		光ファイバ伝送専門委員会	継続
		光ファイバシステム SWG	
		光ファイバファイバケーブル SWG	

2.2.2 会合開催状況

COVID-19 の第 5 類感染症移行等もあり、会合目的等に応じ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式に移行済。

表 6 専門委員会・サブワーキンググループ(SWG)・アドホックグループ(AHG)の会合開催状況

専門委員会・SWG・AHG	回数
マルチメディア応用専門委員会	2
マルチメディア応用専門委員会 電子情報健康管理 SWG	2
マルチメディア応用専門委員会 アクセシビリティ SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 メディア符号化・通信 SWG	2
マルチメディア応用専門委員会 ILE SWG	2
マルチメディア応用専門委員会 マシンビジョン SWG	9
コネクテッド・カー専門委員会	12
BSG 専門委員会	7
IoT・スマートシティ専門委員会	2
IoT・スマートシティ専門委員会 ICT と気候変動 SWG	1
AI 活用専門委員会	7
oneM2M 専門委員会	5
セキュリティ専門委員会	4
企業ネットワーク専門委員会	10
企業ネットワーク専門委員会 企業網インタフェース SWG	10

企業ネットワーク専門委員会 消防指令システム SWG	8
信号制御専門委員会(メール審議)	1
信号制御専門委員会 SIP SWG	3
信号制御専門委員会 NGN 信号アップストリーム SWG(メール審議)	5
網管理専門委員会 通信ネットワーク運用管理 SWG	3
網管理専門委員会 通信サービス品質評価 SWG	3
番号計画専門委員会	3
Network Vision 専門委員会(メール審議)	2
Network Vision 専門委員会 NGN アップストリーム SWG	7
Network Vision 専門委員会 NGN アップストリーム SWG(メール審議)	1
移動通信網マネジメント専門委員会	2
3GPP 専門委員会	4
IoT エリアネットワーク専門委員会	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 サービスプラットフォーム SWG	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 通信インタフェース SWG	11
伝送網・電磁環境専門委員会 装置機能・管理 SWG	5
光ファイバ伝送専門委員会	1
光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバケーブル SWG	2
アクセス網専門委員会	1
アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網 SWG	4
ITU-T FG AN 対応 AHG	4

2.2.3 主な活動成果

- ・ 18 の専門委員会で標準化動向・新規標準化課題の調査、国際標準化機関への提案、TTC ドキュメントを作成(標準・仕様書・技術レポート・調査報告書)。
- ・ 2023 年度の目標達成状況を含む 2024 年度中期標準化戦略を策定し、企画戦略委員会および標準化会議で承認(別紙 4)。
- ・ ITU-T の各スタディグループ(SG: Study Group)における標準勧告の制定や FG における新規課題の発掘に貢献するため提出した寄書数や、TTC 標準等の制改定数は下表のとおり。oneM2M や 3GPP への提案は、各パートナーシッププロジェクトに参加する TTC 会員より提案。

表 7 寄書・標準等制改定数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
寄書数	108	104	126
最も貢献した 専門委員会(数)	伝送網・電磁環境 (31)	セキュリティ (25)	マルチメディア応用 (27)
TTC 標準制改定	16	13	10
仕様書制改定	707	1,414	731
内 3GPP	704	1,389	728
技術レポート制改定	10	75	21
内 3GPP	1	55	6

- ・ 詳細は別紙 5-1,5-2,5-3 を参照のこと。

2.3 IPR 委員会

TTC 会員からの IPR ポリシーに関する問い合わせの対応を実施。

3 業際イノベーション

3.1 業際イノベーションワーキングパーティ

分野横断的な活動として業際イノベーションワーキングパーティ(WP)を推進。以下の活動を実施。

- ・ 高精細映像データ医療応用研究会
 - ・ 8K内視鏡などの医療用高精細画像の色彩情報に関する標準化(ITU-T への寄書提案)を目指し検討を継続実施
 - ・ 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム、内視鏡・映像関係企業、放送関係者が参加し、議論の成果を ITU-T に提案に向けて検討を継続実施
 - ・ 2023 年度は、会合を10回開催
- ・ BHQ (Brain Healthcare Quotient)
 - ・ 脳の健康の維持・向上に向け、脳の MRI 画像をベースに脳健康状態を表す単位として開発された BHQ(Brain Healthcare Quotient) に関する情報交換、利活用事例の調査研究、実証実験、普及展開などを継続実施中
 - ・ ITU-T SG16 における脳情報プラットフォーム(勧告化完了)のユースケース検討などでの連携
 - ・ 家電、食品、医療機器、日用品メーカなどの BHQ コンソーシアム会員企業が参加
 - ・ 2023年度は、会合を4回開催
- ・ 健康・医療 IoT
 - ・ ヘルスケアに関する議論の場として 2023 年 2 月に設立

- ・ ECHONET と Continua Health Guideline などの相互運用性の要求条件および実装等に関する情報交換、調査研究
- ・ 2023 年度は、1 回の会合を実施
- ・ メタバース標準化推進連絡会
 - ・ メタバースに関する議論の場として 2023 年 2 月に設立
 - ・ 様々な標準化団体の情報が集まり情報の共有を行う場を作り、ITU-T FG-metaverse 等の会議の情報の共有や日本からの提案の事前検討を行い、今後のメタバースの標準化・普及を推進
 - ・ 2023 年度は7回の会合を実施
- ・ SPE コンソーシアム
 - ・ SPE コンソーシアム内外のメンバーによる標準化活動の場として 2024 年 3 月に設立。2024 年 4 月より活動開始予定。

3.2 スマート IoT 推進フォーラム

IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等の技術の発展により、グローバルに、あらゆる分野で、その産業・社会構造が大きく変革しつつあることを踏まえ、IoT 等に関する技術の開発・実証を推進するなど、産学官を挙げて新たな時代の変化に挑戦することを目的として 2015 年 10 月に設立された「IoT 推進コンソーシアム」の下に、IoT 関係の技術開発・実証を推進する技術開発ワーキング・グループとして設置されたフォーラム「スマート IoT 推進フォーラム」の事務局運営支援として以下活動を実施。

技術・標準化分科会

- ・ IoT 通信技術に関する国内外の動向把握と技術・標準戦略、普及展開戦略の検討等を実施。
- ・ 2023年度は、分科会会合を 11 回開催
3 つのタスクフォースにて、IoT 情報モデルの検討、エリアネットワーク運用管理規定の検討、センサ情報を使用したインフラ構造物の維持管理に関する検討を推進中。また事例を解説するセミナーを2回開催し延べ 200 名を超える参加者があった。

テストベッド分科会

- ・ IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的とし、分科会、コアメンバー会議、各種検討会にて活動。
- ・ 2023年度は、分科会会合を 2 回開催
データ分析可視化タスクフォース、ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース、データ連携・利活用タスクフォースで活動し、B5G ネットワークタスクフォースではハンズオン体験会を開催し、テストベッドの利用者連携促進、B5G の研究開発促進を推進中。

IoT 価値創造推進チーム

- ・ 各部会・分科会等の活動状況を踏まえた組織横断的な取組みの推進、及び会員向けサービス拡充に向けた取組みの推進
- ・ 2023 年度は、チーム会合を 1 回開催。
主な実績は、IoT 導入事例紹介(14 件)、メールマガジン配信(8 件)、会員向け情報発信(38 件)、イベント後援等(4 件)。

4 他団体等との連携・協力

4.1 国際

国際連携アドバイザーグループを中心に、他の国際標準化機関・団体等との協力、連携強化のための活動を実施した。また ITU-T TSAG への対処方針の策定において中心的な役割を果たした。

4.1.1 ASTAP(Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program) 第 35 会合

- ・ 議長、副議長の選出が行われ、岩田専務理事が、副議長(2期目)として承認。
- ・ EG BSG において TTC の BSG 専門委員会が提案したケーススタディ事例を追加したハンドブック改訂承認。

4.1.2 APT (Asia-Pacific Telecommunity) WTSA 準備会合

- ・ 2023年4月に開催された第1回 APT WTSA 準備会合において岩田専務理事が全体会合の副議長として選出、また日本から3名が各 WG の議長・副議長に選出。(NTT 山本氏(WG1 議長)、NEC 永沼氏(WG2副議長)、KDDI 本堂氏(WG3 副議長))。

4.1.3 TSAG 第 2 回、第 3 回会合

- ・ 2023年 5 月に第 2 回会合、2024年 1 月に第 3 回会合が開催。NEC 永沼氏(TTC TSAG TF リーダ)が TSAG 副議長および RG-WPR のラポータとして ITU-T 次会期に向けた SG 再編アクションプランの議論およびとりまとめをリード
- ・ 第 3 回会合にて日本より SG 再編に関し SG9 と SG16 を統合する提案を行い合意された。今後 WTSA-24 に向け統合に向けた調整を実施予定。(SG9 議長:KDDI 宮地氏、SG16 副議長:OKI 山本氏)

4.1.4 3GPP および oneM2M パートナーシッププロジェクト

- ・ 3GPP FFG 議長(TTC 事務局: 中村)/ oneM2M FC 議長(TTC 事務局: 新村)を務め、両パートナーシッププロジェクトの円滑な運営に貢献

4.1.5 その他

- ・ 2023 年 10 月、マレーシア技術標準化フォーラム(MTSFB: Malaysian Technical Standards Forum Bhd)との間で新たな覚書を締結。

4.2 国内

産業や技術分野を横断した取り組みが欠かせない協調領域において、産学官の橋渡し役として標準化活動を推進し、日本の産業の国際競争力強化に貢献することを目的に活動。限られた国内リソースの効率的な活用及び国内一体での標準化活動の推進のため、ITU と ISO/IEC JTC 1 とのリエゾン等の国際標準化団体間の連携を国内標準化団体間でも取り入れた活動を推進した。他団体等との連携成果や意見交換の場として共催セミナーを開催。2023 年度は計 7 団体との共催セミナーを実施した。

主な連携活動事例を以下に挙げる。

- ・ Beyond5G 推進活動

「Beyond5G 推進戦略」(2020 年 6 月総務省)推進を目的に 2020 年 12 月に設立された Beyond5G 推進コンソーシアムおよび Beyond5G 新経営戦略センターに、委員として参画。Beyond5G 実現に向けた提言等を実施。

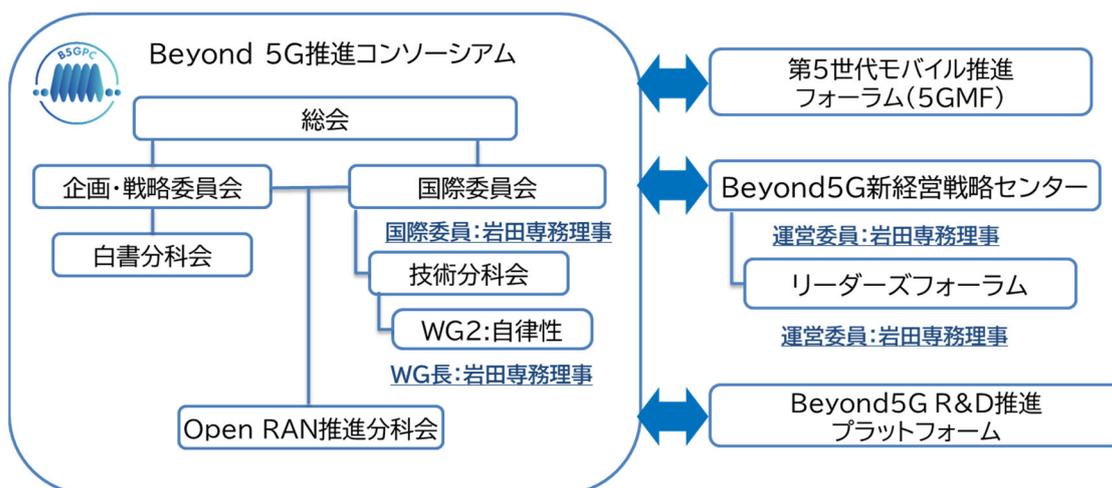


図 1 Beyond5G 推進活動

- ・ 情報処理学会、情報規格調査会

標準化エリアが ITU、JTC1 の枠組みを越えた上位レイヤに移るトレンドの中で、情報処理と情報通信ネットワークに関わる国内標準化団体の取組について、双方の国内審議団体間の戦略決定レベルの交流を通して、標準化課題の共通認識合わせや重複作業の回避を行い、国内および国際標準化における効率的な活動を促進することを目的に、2023 年 7 月に情報規格調査会との連絡会(第 12 回)を開催。スマートシティやコネクテッド・カーでの標準化議論の他、標準化人材の育成等、JTC1、ITU 共通テーマに関する情報共有・意見交換を実施。連絡会での議論結果等をもとに、GX をテーマとしたセミナーを情報処理学会と共催(2024 年 1 月)。また、メタバースの標準化動向と最新事例に関するセミナー及び標準化人材育成に関するセミナーを情報規格調査会と共催(2024 年 2 月)。

- ・ 量子 ICT フォーラム
2020 年 4 月に協力関係に関する覚書を締結。ITU-T、ETSI (European Telecommunications Standards Institute)、ISO/IEC JTC1 等での量子暗号の国際標準化活動で連携。2023年 11月に、量子 ICT フォーラム、TTC 共催オンラインセミナー「ネットワークアーキテクチャ、高性能コンピューティング、情報セキュリティの融合に向けて」を開催。
- ・ 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、HATS 推進フォーラム
情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)と共同で、コネクテッド・カー技術を災害時に利用した情報通信システム(V-HUB)の利活用に向けたガイドラインを作成。災害時のコネクテッド・カー利用について、実際に社会実装・実証している事例を紹介するセミナー「災害時のコネクテッド・カー利用事例と将来展望」を 2024 年 3 月に CIAJ と共催。
- ・ 電子情報通信学会通信ソサエティ RISING 研究会
ITU-T 主催の、通信領域の AI 活用に関する研究と実践の 2023 年版国際大会(AI/ML in 5G Challenge)に日本ラウンドで参加資格を得たチームによるリモートワークショップ「第 4 回 ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者による AI 活用研究の発表について」を電子情報通信学会 通信ソサエティ RISING 研究会と共催(2023年 11月)

5 調査

デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の推進に資する調査等(総務省からの請負)を以下の内容で実施。

- ・ ITU-T、APT の標準化活動について WTSA、TSAG、ASTAP 等の会合に参加して調査を行うとともに、ITU-T の SG、FG 活動を分析し、標準化活動の在り方を提言。また、標準化教育テキストの更新、標準化人材育成セミナー(2024年 2 月)を実施(6 人材育成を参照)。
- ・ 上記以外のデジュール／フォーラム標準化機関・団体に関する調査として、前年度に公募を通じて選定した調査者(8者)を通じて、ITU-T SG16、IETF、Next G Alliance 等における標準化動向の調査を実施するとともに、これら調査者が報告を行う外部向けセミナー(ICT ビジネス戦略オンラインセミナー、オンライン形式)を 2 回開催(2024年 2 月及び3月)。
- ・ 国際標準化の強化に関する支援活動の一環として、業際イノベーションワーキングパーティ(WP)の活動を支援(3.1 業際イノベーションワーキングパーティを参照)。

6 人材育成

- ・ 2023 年度に1年間の時限的な組織横断での検討会として立ち上げた CBAG を通じ、標準化活動者の現状、評価、育成に関するアンケート調査を実施(2023 年 11 月)。標準化人材育成の現状や課題、社外施策への期待等を踏まえた対応策を検討。
- ・ CBAG 主催の TTC オンラインセミナー「次世代のルールメーカーの育成とキャリア開発」を実施(2023 年 6 月)。デジュール標準だけでなくフォーラムやコンソーシアム、OSS 等のコミュニティ活動も含めた産学官の若手を中心とした意見を集め、標準化人材の固定化や減少に関する課題対応策を検討。
- ・ 標準化活動初心者に有益な教育ツール提供を目的として、標準化ノウハウを蓄積した手引書の継続的更新と標準化テキストを活用した人材育成プログラムを継続して実施。2024 年 2 月に標準化人材育成オンラインセミナー「国際標準化を活用した研究活性化～事例とノウハウ～」を開催。
- ・ 5G ネットワークを含む将来ネットワークにおける AI/ML(人工知能/機械学習)の適用方法を検討する国際的なコンテストの第 4 回 ITU AI/ML in 5G Challenge が開催。日本ラウンドの後援および受賞者発表会を RISING 研究会と共催で実施(2023 年 11 月)。FG-ML5G の成果物をベースに作成された AI/ML 関連勧告の有効性検証と新たな標準化検討の方向性を推進支援する機会を提供。
- ・ 2021 年度より継続して 3GPP 専門委員会、移動通信網マネジメント専門委員会合同勉強会を実施。委員の知識・技術向上に資すると共に、若手標準化人材の活動人脈づくりを促進。専門委員会外への活動展開として、TTC セミナー「3GPP Rel-17 NW スライス ワークショップ」(2023 年 7 月)、「3GPP 5G が社会・産業界に与えるインパクト ～ローカル 5G, IIoT, NW スライス, 放送・通信融合, 非地上系ネットワーク (NTN) の 使い方～」(2024 年 1 月)を開催。
- ・ アジア・太平洋電気通信共同体(APT: Asia-Pacific Telecommunity)が日本の特別拠出で実施する 2023 年度の研修コースに TTC の2件の提案が採択。ジェンダー格差解消と地域課題解決のためのモバイルソリューションアーキテクト研修(2023 年 11 月)と標準化の専門家の育成と新興技術動向の紹介(2023 年 11 月、12 月)を開催。
- ・ ITU TSB 局長 尾上誠蔵 氏の来日の機に、情報通信を始めとする技術分野における標準化や国際業務等の経験者 14 名の女性との対話会を「Network of Women in Japan」として開催(2024 年 2 月)。

7 普及・広報

7.1 TTC 標準・仕様書等の発行

- ・ 2023年度の TTC 標準類ダウンロード数は 96,970 件で昨年より増加。
- ・ 専門委員会別では信号制御専門委員会がもっとも多く、伝送網・電磁環境専門委員会、3GPP 専門委員会が続くが、去年のダウンロード数より増加。

表 8 TTC 標準類ダウンロード数

	2021年度	2022年度	2023年度
累計	115,095	85,476	96,970
TOP20 合計	32,373	28,874	24,922
月平均	9,591	7,123	8,080
専門委員会別 TOP3	信号制御 (26,220)	信号制御 (21,898)	信号制御 (24,922)
	伝送網・電磁環境 (20,937)	伝送網・電磁環境 (17,770)	伝送網・電磁環境 (17,349)
	3GPP (20,615)	マルチメディア応用 (8,314)	3GPP (10,862)

詳細は別紙 6 を参照のこと。

7.2 セミナーの開催

セミナーを専門委員会等での活動成果報告等の普及活動の他、新たなテーマの発掘、活動者の呼び込みとして活用。また他組織連携や会員へのサービス向上等の関係強化として開催。2023 年度は全 17 回のセミナー実施。最も参加人数の多いセミナーで 508 名が参加。1回あたりの平均参加人数は 194 名、TTC の活動の普及に貢献。

表 9 セミナー等実施回数と参加者の推移

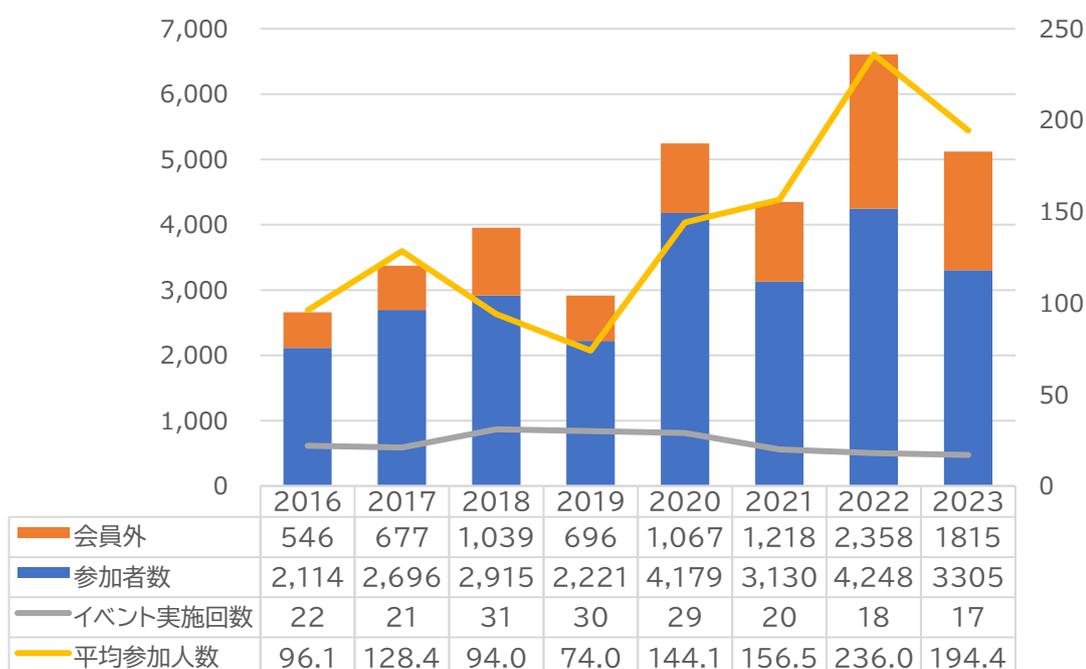


表 10 2023 年度参加者人数上位3セミナー

No.1	TTC セミナー「3GPP Rel-17 NW スライス ワークショップ」 (2023/7/3、5)	508 名
No.2	TTC セミナー「3GPP 5G が社会・産業界に与えるインパクト ～ローカル 5G, IIoT, NW スライス, 放送・通信融合, 非地上系 ネットワーク (NTN) の使い方～」(2024/1/16)	366 名
No.3	ITSCJ・TTC 共催セミナー「メタバースの標準化動向と最新事例」 (2024/2/7)	336 名

詳細は別紙 7-1 を参照のこと。

7.3 Web サイトや機関誌等による情報発信

7.3.1 Web サイト

会員以外も含めた情報発信のツールとして内容の充実化に継続的に取り組んだ。また掲載内容の最新化のための更新ルール等を整理。

表 11 2023 年度 Web サイト掲載情報

コンテンツ	内 容	件 数
トピックス	5 つのカテゴリ(①お知らせ、②イベント、③募集案内、 ④標準類制定・寄書審議、⑤ブログ)に分けて、タイムリー に情報を掲載。	83 件
ブログ	岩田専務理事による国際会合の速報や標準化活動の 解説、紹介等の情報発信	20 件
セミナー・イベント 動画アーカイブ	2023 年度に開催したセミナーのうち講演者の許可が 得られたものについてセミナーの記録動画をアーカイブと して会員向けに公開。	14 件

7.3.2 機関誌(TTC レポート)

会員向けに TTC レポートを年 4 回発行(2023 年 4 月、7 月、10 月、2024 年 1 月)。
情報通信技術の他産業・分野への応用など特集記事を展開。

7.3.3 メール配信

TTC からの各種案内メールを登録者向けに配信。毎月初めにマンスリーレポートとして、
月ごとの活動状況等を配信する他、セミナー等のイベント案内や、TTC 会員向けには
ブログや TTC レポートの更新情報を随時配信。

7.4 関連団体主催セミナーへの後援・協賛・協力

- ・ 関連する他団体等が主催するセミナー・ワークショップについて、7 件の後援・協賛を通じ連携を強化(別紙 7-2)。
- ・ 4 件の展示会等へ後援・協賛・講演を実施(別紙 7-3)。

8 表彰

- ・ 表彰規程に基づき、表彰選考委員会(2023 年 4 月 20 日)にて、公募して応募した候補者の中から、情報通信技術賞(総務大臣表彰、TTC 会長表彰)の受賞者を選考し、理事会(2023 年 5 月 23 日)にて決定(総務大臣表彰受賞者は、理事会の審議を経て、総務大臣の承認を得て決定)。
- ・ 「2023 年度 情報通信技術賞・功労賞表彰式(2023 年 6 月 19 日)」にて総務大臣表彰(1 名)、TTC 会長表彰(6 名)、功労賞表彰(19 名)を行い、その功績を称えた(別紙 8)。

9 業務運営状況

9.1 規程等の整備

規程等の制改定等の状況は、次のとおりである。

項目名	決定等
テレワーク勤務規程の制定	第 225 回理事会 (2023.5.23)
就業規則の一部改定	
職員給与規程の一部改定	
理事会決定に関する規程の制定	第 227 回理事会 (2023.10.3)
表彰規程の一部改定	第 229 回理事会 (2024.2.21)
表彰規程の一部改定	
フレックスタイム制運用規程の制定	
就業規則の一部改定	
職員給与規程の一部改定	
就業規則、職員給与規程及び退職手当規程中別に定める額等に関する件の一部改定	

9.2 会議等の実施

総会、理事会、評議会の実施状況は、次のとおりである。

表 12 総会、理事会、評議会の実施状況

会議名	実施日	主な議題
第 55 回評議会	2023.5.23	・2022 年度標準作成状況について

第 225 回理事会	2023.5.23	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度事業報告及び附属明細書について ・2022 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書について ・役員候補の推薦について ・評議会委員の選任について ・標準化会議議長及び副議長の承認について ・企画戦略委員会委員の選任について ・2023 年度情報通信技術賞について ・テレワーク勤務規程の制定及び関連規程の一部改定について ・入会の承認について
第 62 回定時総会	2023.6.19	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度事業報告及び附属明細書の件 ・2022 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書の件 ・役員選任の件
第 226 回理事会 (書面)	2023.7.25 ～8.2	<ul style="list-style-type: none"> ・入会の承認について
第 227 回理事会 (書面)	2023.9.25 ～10.3	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会決定に関する規程の制定について ・表彰規程の一部改定について ・ Malaysian Technical Standards Forum Bhd(MTSFB)との覚書締結について ・入会の承認について
第 228 回理事会 (書面)	2024.1.30 ～2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・企画戦略委員会委員の選任について
第 229 回理事会	2024.2.21	<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度事業計画について ・2024 年度収支予算について ・表彰規程の一部改定について ・表彰選考委員会委員の選定について ・フレックスタイム制運用規程の制定及び関連規程の一部改定について ・入会の承認について

9.3 会員及び財務

- ・ 財務面では、会費口数が計画口数を下回ったが、調査研究受託収入が計画を上回ったこともあり黒字決算を実現。

- ・ 会員数及び会費口数の増加に向けて、専門委員会等の活動報告や新規標準化テーマに関するセミナーを開催。標準化活動の広報・普及に努めた。
- ・ ホームページからの情報発信、会議室の環境整備など、会員数及び専門委員会登録数の増加に向けた施策を強化するとともに、経費削減に向けたきめ細かな取り組みを実施。

表 13 2023 年度における会員の推移

会員種別	2022 年度末	2023 年度末	2023 年度における変動
正会員	75	76	入会 3 社、正会員から賛助会員への種別変更 1 社、退会 1 社
準会員	1	0	退会 1 社
賛助会員	11	13	入会 2 社、正会員から賛助会員への種別変更 1 社、退会 1 社
協力会員	10	11	入会 1 社
合計	97	100	

表 14 2023 年度における専門委員会登録数の主な推移

専門委員会	変 動
3GPP	新規登録 1 社
コネクテッド・カー	新規登録 1 社、退会 1 社
マルチメディア応用、IoT・スマートシティ、セキュリティ、oneM2M、信号制御、伝送網・電磁環境	退会 1 社

9.4 運営改善

- ・ 新型コロナウイルス(COVID-19)の第 5 類感染症移行に伴い、会議及びセミナーを、会合目的等に応じて、臨場(TTC会議室を利用)、Web 会議(オンライン会議)、それらを組み合わせたハイブリッド方式で実施。
- ・ ICT を用いた業務効率化を推進。3GPP 専門委員会の活動においては、四半期ごと進めている TTC 標準仕様の作成(ダウンストリーム作業)等において、これまで手作業で行ってきた作業を自動化ツール等の運用により継続的に改良し、人為エラーの回避と工程時間の大幅な短縮を実現。このほか、文書稟議などにおいても ICT を用いて業務効率化を実現。
- ・ 事務局職員のシフト勤務の実施や在宅勤務の実施などを継続し、事業運営を柔軟に対応。
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現と事務局運営の円滑化・効率化を促進するため、女性活躍推進法に基づき策定した行動計画に基づき、昨年度に引き続きノー残業デー及び有給休暇取得促進を実施。

(1)企画戦略委員会 委員長・副委員長・委員一覧(2024年3月末日現在)

役 職	氏 名	会 員 名
委員長(標準化会議議長)	大谷 朋広	KDDI 株式会社
副委員長(標準化会議副議長)	古川 聖	日本電信電話株式会社
委 員	石岡 譲	富士通株式会社
委 員	神保 光子	日本電気株式会社
委 員	張 亮	ソフトバンク株式会社
委 員	中村 信之	沖電気工業株式会社
委 員	畑中 芳隆	株式会社 NTT ドコモ
委 員	原 美永子	日本電信電話株式会社
委 員	三宅 滋	株式会社日立製作所
委 員	渡辺 伸吾	KDDI株式会社

(2)部門・専門委員会・AG の担当企画戦略委員

部 門	専門委員会・アドホック等
ICT 活用アプリケーション: 石岡、神保、畑中、三宅	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア応用:石岡 ・コネクテッド・カー:三宅 ・BSG:神保 ・IoT・スマートシティ:神保、畑中
プラットフォーム: 石岡、三宅、渡辺	<ul style="list-style-type: none"> ・AI 活用:石岡、三宅 ・oneM2M:渡辺 ・セキュリティ:三宅 ・企業ネットワーク:三宅
プロトコル・NW 管理・品質: 中村、原	<ul style="list-style-type: none"> ・信号制御:原 ・番号計画:原 ・網管理:中村
アーキテクチャ: 畑中、原、渡辺	<ul style="list-style-type: none"> ・Network Vision:原 ・移動通信網マネジメント:畑中、渡辺 ・3GPP:畑中、渡辺
トランスポート・アクセス・エリア NW: 張、中村	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT エリアネットワーク:中村 ・伝送網・電磁環境:張 ・光ファイバ伝送:張 ・アクセス網:張
アドバイザリーグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携:神保、三宅 ・技術調査:神保、三宅 ・キャパシティビルディング:神保、三宅

(1)標準作成の審議経過

内 容	標準化会議回数			
	第 141 回	第 142 回	第 143 回	第 144 回
標準案の周知	2023.3.1 (Web 公開)	2023.6.2 付議する案件が 無かったため中止	2023.9.8 (Web 公開)	2023.12.1 (Web 公開)
標準案説明会	中止 (注 1)	—	2023.9.21	2023.12.18
標準案に対する 意見・対案の募集	2023.3.1 ～ 2023.3.24	—	2023.9.8 ～ 2023.9.29	2023.12.1 ～ 2024.1.5
対処方針の 周知(1 回目)	中止 (注 2)	—	中止 (注 2)	中止 (注 2)
対処方針に対する 意見・対案の募集	—	—	—	—
対処方針の 周知(2 回目)	—	—	—	—
票決実施の 議長決定周知	2023.4.21 (E-Mail)	—	2023.10.27 (E-Mail)	2024.2.2 (E-Mail)
電子投票実施	2023.5.12 9:00 ～ 2023.5.18 15:00	—	2023.11.3 9:00 ～ 2023.11.9 15:00	2024.2.9 9:00 ～ 2024.2.15 15:00

【内容欄の説明】

標準案の周知:標準案に対する意見および対案の提出依頼および IPR 声明書の提出依頼。

標準案説明会:原則として「標準案に対する意見・対案の締切日」までに開催。

対処方針の周知:意見・対案に対し、当該専門委員会として対処方針を示す。

(注 1):標準案説明会を案内したが、参加希望者が 1 名以下だったため、個別に対応し説明会は中止

(注 2):標準案に対する意見・対案の提出がなかったため中止

(2)2023 年度標準の制改定件数および意見・対案の提出状況

標準化会議 (投票締切日)	標準作成状況 (注1)			意見・対案の提出状況(件数)							
	新規	改定	廃止	標準化会議委員提案				専門委員会自主提案			
				技術内容に関するもの		記述形態に関するもの		技術内容に関するもの		記述形態に関するもの	
				提案	採用	提案	採用	提案	採用	提案	採用
第141回 (2023.5.18)	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第142回 (中止)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第143回 (2023.11.9)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第144回 (2024.2.15)	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)本表に記載の「改定」以外に、単なる誤記訂正等、技術的内容には変更が無い改定は当該専門委員会での承認のみで改定版の制定が行えるので、その数値は本表には含まれていない。

(3)制改定及び廃止した標準等の年度別の件数推移

以下の標準類の制改定数と廃止数には、標準類の英訳版((E)標記のドキュメント番号の標準類)、および標準の単なる誤記訂正による改定は含めていない。

① 標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移 (3PPP/3GPP2 以外)

区分	年度	2019	2020	2021	2022	2023
標準	制定	11	10	10	6	3
	改定	3	15	6	7	7
	廃止	0	0	0	0	0
仕様書	制定	24	2	0	23	1
	改定	1	2	3	2	2
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	11	2	5	16	7
	改定	3	1	4	4	8
	廃止	0	0	0	0	0

(参考)2023 年度英訳版:改定 1 件

② 3GPPおよび3GPP2の標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移

区分	年度	2019	2020	2021	2022	2023
仕様書	制定	535	1,252	704	1,389	728
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	3	0	0	0	0
技術レポート	制定	1	40	1	55	6
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	0	0	0

③ TTC 標準類の累積件数(3GPP/3GPP2 を含む 2023 年度累計)

	年度	2019	2020	2021	2022	2023
標準類	標準	897	907	917	923	926
	仕様書	14,528	15,782	16,486	17,826	18,627
	技術レポート	637	679	685	756	769

④ TTC 標準類英訳版の制改定及び廃止(参考)

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	信号制御	2023.5.18	JJ-90.30(E)(改定 第11版) Common interconnection interface Between IMS operator's networks (English Edition)

専門委員会 委員長・副委員長一覧

2024年3月末日現在

部門	専門委員会名	委員長	副委員長
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	山本 秀樹 (沖電気工業株)	芹沢 昌宏 (日本電気株)
	コネクテッド・カー専門委員会	千村 保文 (沖電気工業株)	鈴木 邦一 (株デンソー)
	BSG 専門委員会	山本 秀樹 (沖電気工業株)	長尾 慈郎 (日本電信電話株)
	IoT・スマートシティ専門委員会	山田 徹 (日本電気株)	後藤 良則 (日本電信電話株)
プラットフォーム	AI 活用専門委員会	宮澤 雅典 (KDDI株)	岩崎 順子 (日本電気株)
	oneM2M 専門委員会	山本 賢一 (KDDI株)	山崎 育生 (日本電信電話株)
	セキュリティ専門委員会	三宅 優 (KDDI株)	安田 幹 (日本電信電話株)
	企業ネットワーク専門委員会	須藤 一郎 (岩崎通信機株)	高村 智幸 (富士通株)
プロトコル・NW 管理・品質	信号制御専門委員会	吉川 智之 (東日本電信電話株)	斉藤 壮一郎 (沖電気工業株)
	網管理専門委員会	高呂 賢治 (沖電気工業株)	清水 智明 (NTTコムウェア株)
	番号計画専門委員会	森田 公剛 (日本電信電話株)	夏目 基 (株NTTドコモ)
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会	後藤 良則 (日本電信電話株)	斉藤 洋之 (沖電気工業株)
	移動通信網マネジメント 専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク株)	相川 慎一郎 (富士通株)
	3GPP 専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク株)	傳賢 浩史 (日本電気株)
トランスポート・ アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク 専門委員会	美原 義行 (日本電信電話株)	高呂 賢治 (沖電気工業株)
	伝送網・電磁環境専門委員会	村上 誠 (日本電信電話株)	亀谷 聡一郎 (三菱電機株)

	アクセス網専門委員会	岡崎 浩治 (ソフトバンク株)	水口 潤 (三菱電機株)
	光ファイバ伝送専門委員会	松井 隆 (日本電信電話株)	飯塚 哲也 (ソフトバンク株)

中期標準化戦略(2023 年度活動報告)

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシンビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度（ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件）を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション（AI活用） (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス（セキュリティ） (c) 課題Q.27 ITS（コネクテッドカー） (d) 課題Q(Q8/16) 超臨場感通信・xR（業際WP メタバース標準化推進連絡会）			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	10件程度	8件（SG16）	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：7月（第2回） ASTAP：4月	ITU-T SG16会合：7月 ASTAP-35：5月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	各SWGで設定	なし	
	TS/TR/SR	各SWGで設定	なし	
③ ダウンストリーム	数	各SWGで設定	なし	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	各SWGで設定	1. 2023年7月31日にTTCオンラインセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向2023」を開催。 2. 2024年2月にITSJ・TTC共催セミナー「メタバースの標準化動向と最新事例」の開催を予定 3. 6月 画像センシング展セミナーに協力 4. 12月 国際画像機器展セミナーに協力	
	記事投稿、講演会	適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCレポートに寄稿する。	1. TTCレポート10月号にSG16会合「第2回会合」の記事を寄稿 2. 5月、6月、9月、11月にメタバース標準化対応検討会議開催	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	電子情報健康管理SWG	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・ Safe Listening動告の改定、普及。アクセシブル遠隔医療の推進、普及 ・ 医療用UHD応用関連動告の推進。 ・ 脳情報プラットフォーム関連動告化。脳情報関連の新規テーマの検討 ・ AIと保険医療標準化のワッチ ・ コロナ関連動告の検討。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ TTC-SWG1305 'と医療におけるEMCについて協議。			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件	
	外部会合への参加・連携状況	・ ITU-T SG16会合：7月	ITU-T SG16会合：7月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・ 年度内にセミナーを1回開催	2023年3月に「Safe Listening関連セミナー開催。 2023年7月にTTCオンラインセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向2023」を開催。	
	記事投稿、講演会	TTCレポート、ITUジャーナル等		

中期標準化戦略（2023年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

アクセシビリティSWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・ Net119のサービス普及を側面からサポート（相互接続試験の場所提供など）			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	・ ITU-T SG16会合：7月 ・ IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・ 年度内にセミナーを1回開催 （電話リレーサービスの勉強会なども検討）	TTCセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」の開催	
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略（2023年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

メディア符号化・通信SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・ 会員企業の要望に基づきダウンストリーム活動の継続検討 ・ ダウンストリーム活動の要望や意義の確認も含めて検討 ・ 相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施 ・ FAX端末の要望に基づく活動の推進			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ HATSフォーラム IP-FAX(Direct)相互接続試験Annex手順			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	HATSとの連携 JT-T38に関連して、HATSフォーラムにて接続試験の実施要領が制定され、IP-FAX(Direct)接続試験が実施されている。試験結果を踏まえて、TTC標準JT-T38の関連ドキュメントに位置づくTTC技術レポート化を連携して検討している。	HATSと連携して、TTC技術レポート TR-1105「JT-T38によるIP-FAX(Direct)接続のパラメータ推奨条件」の制定を行った。 https://www.ttc.or.jp/topics/20231024	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/1件/0件 TR-1105「JT-T38によるIP-FAX(Direct)接続のパラメータ推奨条件」	
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略 (2023年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	ILE-SWG	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続、国内外への普及の観点から必要に応じて勧告を日本主導で整備 ・ メンバ間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介等をSWGで実施 ・ セミナー開催による普及促進や、連携強化のための合同会合の開催等を検討 ・ 情報規格調査会、IPTVフォーラム及びDSCとの連携を継続 ・ 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTC メタバース標準化推進連絡会と連携してITU FG-MVに寄書提出を実施 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標 (当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	3件程度	13件 (含 見込2件)	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：7月 ASTAP：4月	ITU-T SG16会合：10月 ----- 3件 (ILE:2、IPTV:1) ITU-T TSAG会合：7月、1月 -- 3件(7月:0、1月:3) ASTAP：4月 ----- 1件 ITU FG-MV会合：7、10、12、3月 - 6件(7月:0、10月:1、12月:3、3月2)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 1回 TR： 0回	TS制定： 0回 TR制定： 0回	H.702v2を予定
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する	2024年2月7日情報規格調査会と共催で「メタバースの標準化動向と最新事例」セミナーを実施	
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略 (2023年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マシンビジョンSWG	
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITU-T SG16 Q5、Q12、Q21のマシンビジョンに関する寄書調査、問題提起 ・ JJIA、及びそのアライアンスするマシンビジョン業界団体 (G3) での標準化活動と連携 ・ 特に、2023年12月5日にドバイで開催のCxO Roundtableにて発表した中期展望を 見据えた活動を推進する。 ・ 具体的には、マシンビジョン工業規格「OPC-Machin Vision companion specification」と「GenICam」を関連付けた勧告案を提案する。 ・ 国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標 (当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	—	2件 (他国寄書の部分的な内容修正提案寄書)	
	外部会合への参加・連携状況	参加：ITU-T SG16会合 23年7月、(24年時期未定) ITU-T SG16 Q5/Q21 RGM会合 連携：JJIA、G3との連携	参加：ITU-T SG16会合 - 23年7月 ジュネーブ参加 2名 ITU-T SG16 RGM/WP会合 - 23年11月 Q21/Q24/WP1リモート参加 Q23リモート参加 - 23年12月 CxO Roundtable ドバイ参加 1名 Q5/WP3 リモート参加 - 24年1月 Q12/Q21 リモート参加(予定) 連携：JJIA、G3との連携	CxO Roundtableではマシンビジョンのロードマップについて10分間のプレゼンを実施、ITU-Tで 取り組むマシンビジョンの方向性をCommuniquéに記載。
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：0回 TR：0回	TS制定:0回 TR制定:0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2件：23年6月 画像センシング展セミナー 23年12月 国際画像機器展セミナー	2件：23年6月 画像センシング展セミナー 23年12月 国際画像機器展セミナー	
	記事投稿、講演会	3件：23年6月 画像センシング展パネル展示 23年9月 マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM) 23年12月 国際画像機器展パネル展示	3件：23年6月 画像センシング展パネル展示 23年9月 マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM) 23年12月 国際画像機器展パネル展示	

中期標準化戦略 (2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

コネクテッド・カー専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用:自動車を用いた防災・減災システム(V-HUB)の社会実装に向けて、CIAJと連携して策定した利活用ガイドラインを改訂 (2) ITSセキュリティ:セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドライン(X.1373rev他)の策定、改訂を支援 (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けたスマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査 (4) 5GにおけるV2X:5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア応用専門委員会(SG16、FG-AI4AD) セキュリティ専門委員会(SG17での連携) 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、JASPAR、ITS-Japan他) 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件 - ASTAP-35 EG-DRMRSへの報告	
	外部会合への参加・連携状況	-CITS -ASTAP	-CITS 活動報告 -ASTAP-35への参加(2023年4月)	
② ドットワット作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 -V-HUB利活用ガイドライン改訂	0件/1件/0件 -2024年3月 V-HUB実装事例、自治体アンケートレポート予定	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: TR制定:	
	セミナー	・2回 (V-HUBガイドライン改訂セミナー、CEATEC2023)	・2023年10月 CEATEC2023にて講演(387回視聴あり) ・2024年3月 セミナー開催予定	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	・TTCLレポート	・2024年3月セミナー結果報告予定	

中期標準化戦略 (2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

BSG専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及のため、ASTAPで、APTレポート「ICTソリューションハンドブック」の改定を継続。改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンベン(アイデアソン)の開催検討 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進			
関連する専門委員会または外部組織と内容	新規プロジェクトの内容により、個別に相談する。			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件 ・ASTAP EG BSG(2023年4月予定) - ICTソリューションハンドブック改定提案	1件 ・ASTAP-35 EG BSG (2023年4月) ICTソリューションハンドブック第5版制定	
	外部会合への参加・連携状況	a. ASTAP: 1回 (2023年4月予定) b. SHAREミーティング: 1回 c. 他国標準化団体との合同ワークショップ (マレーシアMTSFB、タイNBTC等) d. アイデアソン開催	a. ASTAP-35(2023年4月) b. SHAREミーティング-19 東京・北九州市にて開催(2023年10月) c1. マレーシアMTSFBとセミナー開催(2023年10月) c2. カセサート大学(タイ)、UNIMAS大学(マレーシア)と農村コミュニティとの国際ワークショップ開催(タイにて 2023年9月) e1. APT研修実施 - Workshop for bridging the gender gap and training mobile solution architects for local issues e2. APTオンライン研修実施 - Training Experts and Foster Managements in Standardization of ASTAP and related Organization f. APTプロジェクト提案(マレーシアの医療プロジェクト第2段階)実施。ほぼ採択。	・項目e1,e2は重点取組 ⑤を人材育成の課題解決まで拡張解釈し実施。 ・項目fは、重点取組①につながる活動。
1,e	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件/1件/0件 ・TR-1058 第5版 2024/3/1 ミャンマーでの新たなケーススタディ "e-Healthcare for end epidemic of Tuberculosis in Myanmar" を追加	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
	セミナー	・TTCセミナー 2回	セミナー 1回 - 2023/10/16 TTCオンラインセミナー「スマート農業の最新技術と国際標準化動向」	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	・TTCLレポート記事: イベント毎に報告	TTCLレポート記事 3件 ASTAP報告/MTSFBとのMOU締結/SHARE MEETING	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

IoT・スマートシティ専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG20におけるIoT・スマートシティに関する国際標準への提案活動の推進(寄書提案2件) ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策 オンラインセミナー開催: 委員会活動およびITU-T SG20の標準化動向の情報発信、関連分野の識者の講演 外部イベントでの情報発信: Interop Tokyo 2023、EdgeTech+2023にて、当委員会およびITU-T SG20の活動紹介実施 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> BSG専門委員会 : スマート農業に関するオンラインセミナーを共催 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	2	2	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2023年9月開催予定 ITU-T FG-AI4A会合 開催時期未定	ITU-T SG20会合 2023年9月(開催済) ITU-T FG-AI4A会合 2023年5月、8月、12月(開催済)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向」 (開催時期未定)	・TTCオンラインセミナー「スマート農業の最新技術と国際標準化動向」(BSG専門委員会と共催、2023年10月16日開催)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート2件(会合報告、セミナー報告)	・TTCLレポート4件(セミナー報告×2、SG20会合報告×2) ・Interop Tokyo、EdgeTech+でTTC名義で講演 「スマートシティの国際標準化から見るデジタルソリンとその進化」	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

ICTと気候変動SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関するテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進める一方で、国内の優良事例(省資源化技術)について寄書化1件。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> IoT・スマートシティ専門委員会(循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築) 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	0件	1件	
	外部会合への参加・連携状況	—	SG5会合:6月、11月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 0回 TR: 0回	TS: 0回 TR: 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	—	セミナー 2回(R5/3Q、4Q) (親委員会に協力する形で実施)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	・TTCLレポート活動報告(2回) ・APT研修講義	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

AI活用専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●AI活用時の説明責任に関するTR(TR-1099:AI活用時の説明責任に関する事例調査)の増補改訂を下記観点で行う。 <ul style="list-style-type: none"> 通信が中心となるユースケースを追加することで、通信領域のAI倫理のケーススタディを追加 AIのリテラシー向上とAIの普及促進に資することを目指すため、AIを構成するシステムアーキテクチャの基本解説を追加 各SDOでの検討状況に関する情報の共有 ●TTC会員企業にとっての関心領域と思われる、通信関連領域/サービスを中心に、AIを適用したユースケース調査と掘り下げ検討を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 通信領域へのAI適用時における、具体的課題の推定と検討 メタバースなどの新領域へ調査を拡大 特定分野の専門家/有識者を招いてのセミナー企画 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討)と共同して、IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて実施	未実施	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件(予定しない)	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件	0件/1件/0件 ・TR-1099v1.1 (AI活用時の説明責任に関する事例調査)	
③ ダウンストリーム	数	-(予定しない)	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーの開催	・専門家/有識者を招いての、生成AI活用に関するセミナーを実施予定(3月)	
	記事投稿、講演会	必要により検討	未実施	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 oneM2M専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> oneM2Mの次期仕様であるRelease 5の策定状況の動向把握(Metaverseを検討するWork Item等) oneM2M準拠製品・ソリューション、各国導入に向けた取り組み(インドでの国内標準採用等) 			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	特になし。			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	0件	
	外部会合への参加・連携状況	TP会合(2023年4月、6月、9月、12月、2024年2月、計5回予定)。4月、6月、9月、12月会合はF2F開催となる予定(12月は日本で開催する方向で検討中)	TP会合は、2023年4、6、9、12月に開催され、全会合に参加(F2Fと電話会議を併用したHybrid開催)12月の日本会合は、TTC/ARIBがホストとなり、TTC会議室を会場として予定通り開催。	
② ドット作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: 1件	
	セミナー	oneM2Mでの技術仕様策定状況に応じて、スマートシティなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討。	1件(ARIBと共催で、TP日本会合に合わせて実施(Industry Day))	
④ プロモーション普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	0件	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 セキュリティ専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に貢献 B5G/6Gに関するセキュリティドット作成とSG17として取り扱う項目の検討に貢献 ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X-1051(テレコム向けISMS)の改定対応 ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自協会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373改訂作業等に反映 ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策(X-sc-IoT)の日本の意向を反映した勧告草案の更新 X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力(CDCの解説を行う補足文書作成への貢献) 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携) 			
関連する専門委員会または外部組織とその他の内容	<ul style="list-style-type: none"> コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討(3Jとの連携を含む) Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	各SG17会合で10件程度	<ul style="list-style-type: none"> 10件(SG17 2023年2~3月会合) 14件(SG17 2023年8~9月会合) 	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(2023年2~3月、8~9月) CJK Information Security WG会合(時期未定) 	<ul style="list-style-type: none"> CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため、引き続き中止。 2023年2~3月のSG17会合は、日本から25名の参加。 2023年8~9月のSG会合は、日本から28名の参加。 	
② ドット作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	<ul style="list-style-type: none"> 1件 X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices) 5Gのセキュリティ管理策については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1件を標準化 JT-X1715: Security requirements and measures for integration of quantum key distribution network and secure storage X.1373はSG17で改訂作業が進行中。 	JT-X1710、JT-X1712の2件を訂正
	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催(2022/2Q)	11月9日に量子ICTフォーラム、TTC共催オンラインセミナー「ネットワークアーキテクチャ、高性能コンピューティング、情報セキュリティの融合に向けて」を開催。	
④ プロモーション普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	SG17 2~3月会合、8~9月会合の結果報告をTTCLレポートに寄稿。	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 企業ネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスが5類引き下げとなり、オフィスワークとテレワークのハイブリッドな活動に戻りつつあるが、Web会議活用は定着しつつあり、Web会議等の通信技術としてIETFのWebRTC関連RFCの調査を継続している。WebRTC関連RFCのTR化を継続中。関連RFCが多いため、RFC毎にTR化するのではなく、テーマ毎に複数のRFCをまとめてTR化しているが、今期は委員交替も多かったため、一時的に進捗がスローダウンしている。 消防指令システム仕様書の改定に向けた作業（新技術の取り込み、方式の統一化検討）継続中。 企業ネットワークの技術動向の継続的チェック。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	-	-	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	1件/2件/0件 ・消防指令システム（仕様書改定） ・Web会議に関する技術レポート(2件)	0件/1件/0件 ・TR-1102(WebRTC)に関する技術報告書 セキュリティ編	消防指令システム(仕様書改定)1件及びWeb会議に関する技術レポート1件については2024年度前半に制定予定
③ ダウンストリーム	数	TS: 0回 TR: 0回	TS制定:0回 TR制定:0回	
④ プロモーション普及推進	セミナー	-	-	
	記事投稿、講演会	-	-	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 信号制御専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<p>専門委員会 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision、移動通信網マネジメント、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討</p> <p>SIP SWG 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂</p> <p>① 3GPP等の標準化動向/PSSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インタフェースの検討を進める。</p> <p>② 委員からの標準化検討要望への対応</p> <p>③ CJK IMT-WG、GSM A等との連携、情報交換。</p> <p>NGN信号アップストリーム SWG</p> <p>① SG11:会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)</p>			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> Security専門委員会、Network Vision専門委員会(QKDN関連) Network Vision、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 3GPP専門委員会、MM専門委員会 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-	13件	
	外部会合への参加・連携状況	SG11:5月会合	SG11 5月会合:10名、10月会合:10名、3月会合(未定)	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	Recommendation	-	ITU-T Q.4160 QKDNプロトコルフレームワーク ITU-T Q.4161 (QKDNのAkインタフェースのプロトコル) ITU-T Q.4162 (QKDNのKxインタフェースのプロトコル) ITU-T Q.4163 (QKDNのKq-1インタフェースのプロトコル) ITU-T Q.4164 (QKDNのCkインタフェースのプロトコル)	
	JJ標準	1件	4件 JJ-90.27v9.1 JJ-90.28v4.2 JJ-90.30v11.0 JJ-90.30(E)v11.0	
③ ダウンストリーム	TS/TR/SR	0件/0件/0件(未定)	TS:2件 TS-1018v7.2 TS-1025v1.1 TR:1件 TR-1088v3.0	
	数	0件(未定)	0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	IP相互接続に関するセミナー(2023/6月)	未実施	
	記事投稿、講演会	TTレポート活動報告(未定) SG11 会合報告(未定)	・標準類制定状況(April Vol.38/No.1) ・標準類制定状況(July Vol.38/No.2) ・SG11会合報告(July Vol.38/No.2) ・SG11会合報告(January Vol.38/No.4)	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

網管理専門委員会・SWG1501

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・ITU-Tでは5G-RAN、AI、省電力化、ブロックチェーン、スマートオペレーションなどの勧告が予定されており、Mシリーズの勧告化時期や内容を調査検討し、TTC標準化に向けた翻訳作業を実施、JT-M3080:AI拡張テレコム運用管理フレームワーク(AITOM)として、年度内に制定予定			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	・TMForum関連会合(Action Week, Digital Transformation World等)対応者との連携 ・他関連専門委員会(AI活用専門委員会等)との連携	・	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件 ・ITU-T SG2 関連のドラフト勧告の動向調査	0件/0件/0件 ・5G-RAN、AI、省電力化、ブロックチェーン、スマートオペレーション関連の制定状況を共有、議論	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回 ・1件(M.3080「Framework of artificial intelligence enhanced telecom operation and management (AITOM)」のダウンストリーム完了予定) ・次期制定に向けたダウンストリーム対象の選定	TS制定1回 TR制定1回 ・1件 (M.3080「Framework of artificial intelligence enhanced telecom operation and management (AITOM)」ベースに、JT-M3080:AI拡張テレコム運用管理フレームワーク(AITOM)として制定予定(2月) ・次期ダウンストリーム対象としてM.3384「Intelligence levels of AI enhanced telecom operation and management (IL-AITOM)」を選定	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・2023年度中に1回開催	-	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート投稿	-	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

網管理専門委員会・SWG1502

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	JJ-201.01にも関連するITU-T勧告G.107シリーズ、P.862、P.863や、映像配信サービスの品質評価技術である勧告P.120Xシリーズの標準化動向や技術拡張に引き続き積極的に寄与、また、品質評価技術に加え、品質劣化要因分析技術についても寄与し勧告P.1204シリーズおよびP.1211の制定に大きく貢献。今後、発展が期待される5G/IoTに対する品質検討の動向を把握。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	3件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG12: 9月	ITU-T SG12:9月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	継続検討	継続検討	
	記事投稿、講演会	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

番号計画専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	1. ITU-T SG2での検討課題(OTT番号、キャリアスイッチング、IoT番号、番号利用の適正化、国際番号リソース全般の割当手順の規定の統合・プロセス監査、番号ポータビリティ、IMS1・IIN、各種番号リソースの割当申請、AIを用いた災害マネジメントFGのアウトプット等)に対し、会合及び関連するラポート会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ、OTT番号に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 2. 国内での番号方式に関する普及活動として、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ 特になし			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件(ラポート会合への提出3件)	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> SG2会合(2023年3月、10月)参加を行い、適宜意見交換も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> Q1/2ラポート会合(7月)に参加、適宜意見交換も行う。 Q3/2ラポート会合(7月)に参加、適宜意見交換も行う。 Q1/2ラポート会合(9月)に参加、適宜意見交換も行う。 SG2会合(11月)参加を行い、適宜意見交換も行う。 Q1,2,3/2ラポート会合(2月)に参加、適宜意見交換も行う。(予定) WP1/2会合(3月)に参加、適宜意見交換も行う。(予定) 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補:ECCLレポートの翻訳(候補:番号への信頼: ECC report 338 CLI Spoofing)	0件/1件/0件 TR-1104発行(9月) ECCLレポートの翻訳(ECC report 338 CLI Spoofing)	
③ ダウンストリーム	数	0件	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(2024年1月予定)	検討中	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を実施	TTCLレポート(7月号)、ITUジャーナル(7月号)への投稿による普及活動を実施	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

Network Vision専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。(今年度も、CJKは未開催) 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG <ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバーからの提案調整を実施。 QKDN, Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoS アーキテクチャ SWG <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 Autonomous Network AH <ul style="list-style-type: none"> ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有と、専門委員会を横断した活動を継続。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ Security専門委員会(QKDN関連) ・ 信号制御専門委員会(CJK対応) ・ 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を受けてのWI検討			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :- FG AN:-	SG13 :10件 FG AN: 6件	
	外部会合への参加・連携状況	SG13 :- FG AN:-	SG13 :7月会合、10月会合、3月会合(予定) FG AN:4月会合、7月会合、9月会合、1月会合(予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	6件 JT-Y3800v1.2 JT-Y3801v1.1 JT-Y3802v2.0(標準化会議付議中) JT-Y3803v2.0(標準化会議付議中) JT-Y3804v2.0(標準化会議付議中) JT-Y3808v1.1	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	量子ICTフォーラムとの共催セミナー 「ネットワークアーキテクチャ、高性能コンピューティング、情報セキュリティの融合に向けて」(11月)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告(未定)	・標準類制定状況(January Vol.38/No.4) ・SG13会合報告(January Vol.38/No.4)	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 移動通信網マネジメント専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> TTC内の3GPP専門委員会、oneM2M専門委員会、Network Vision専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、AI活用専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、及び(特に5G利用を検討する)関連業界団体の間に立ち、5Gを中心とした標準化を円滑に進めるに当たって必要となる組織間調整やマネジメント会合への参加を始めとしたアクションの実施 3GPP会合のホストを各国SDO横断で検討するMHPGへの対応として、昨今の世界情勢を踏まえた3GPP会合ホスティングの在り方に関する議論のTTC/ARIB間の意見集約と3GPPへの提言、日本でホストすべき会合に関する協議の推進 議決権等に関わる3GPP Working Procedureの改訂に関する議論のTTC/ARIB間の意見集約と3GPPへの提言 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP専門委員会と密に連携し、5G標準化の最新動向に関するTTCセミナーの開催 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	0件	
	外部会合への参加・連携状況	・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回)	・3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 0回 TR: 0回	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
	セミナー	3GPP専門委員会と連携して、2022年度の5G仕様の主要アイテム(ネットワークスライス、非公衆5G網)の勉強会の成果をセミナーとして外部展開を検討する	3GPP専門委員会と連携して、5G仕様の主要アイテムであるネットワークスライスに関して7/3、7/5の二日間に渡り、「3GPP Rel-17 NWスライス ワークショップ」というタイトルでセミナーを開催。 同様に、3GPP専門委員会と連携して、1/16に「3GPP 5Gが社会・産業界に与えるインパクト～ローカル5G, IIoT, NWスライス, 放送・通信融合, 非地上系ネットワーク (NTN) の使い方～」とのタイトルでTTCセミナーを開催。	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討	無し	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 3GPP専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論。 3GPPで承認された仕様書を、年4回TTC仕様書として年4回制定。(ダウンストリーム活動) 年4回の専門委員会会合の開催、3GPP仕様書ダウンストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論。 5G主要アイテム(NWスライス、ローカル5G)の委員会内の勉強会成果を委員会外へ提示/紹介。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及びB5Gに向けた標準化推進施策を検討する。 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	・3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#72, #73, #74, #75を開催	・3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#72, #73, #74, #75を開催した	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS/TR 4回(四半期毎) ITU-Rの勧告(M.2012, M.2150)改訂への対応	ダウンストリーム制定 04月14日制定 (TS 210件, TR 3件) 07月07日制定 (TS 194件, TR 0件) 10月05日制定 (TS 181件, TR 2件) 01月12日制定 (TS 143件, TR 1件) ITU-R勧告の改訂に際し4/14までの制定情報をITU-Rへ提供 M.2012-6: 192件 M.2150-2: 221件	
	セミナー	・移動通信網マネジメント専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムを深掘りする勉強会の成果を外部に展開を検討予定。	- 2023/03/17日 3rd Japan 6G Technical & Standardization Workshopで活動紹介した - 2023/07/03, 07/05 TTCセミナー「3GPP Rel-17 NWスライス ワークショップ」を開催した - 2024/01/16 TTCセミナー「3GPP 5Gが社会・産業界に与えるインパクト～ローカル5G, IIoT, NWスライス, 放送・通信融合, 非地上系ネットワーク (NTN) の使い方～」を開催	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。	無し	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

IoTエリアネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	① IoTを活用したインフラモニタリングで利用するセンサーデバイス等の情報モデル標準化検討 ② タイムリーな既存TRの改定や新規作成を実施 ③ IoT推進フォーラムの技術・標準化分科会等との連携継続 ④ SG15合同アップストリーム会合、およびIoT・スマートシティ専門委員会会合に参加し、アップストリーム活動と情報共有実施			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・IoT・スマートシティ専門委員会: 当専門委員会で検討した都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて勧告化作業を実施 ・信号制御専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討 ・AI活用専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討 ・OneM2M専門委員会: IoTエリアネットワークに関して情報交換を検討 ・セキュリティ専門委員会: IoTセキュリティに関する連携 ・Network Vision専門委員会: 2030年を見据えた将来網検討			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	SG15:4月会合、SG20:7月会合、SG5:6月会合	SG15:4月、11月会合、SG20:9月会合、SG5:6月、11月会合	
② ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート	JJ標準	・JJ-300.20をIEEEにおける標準化状況にあわせた改定を検討(改定は2024年度予定)		
	TS/TR/SR	1件/2件/0件	0件/3件/1件 ・TR-1103、TR-1052(第2版:改定)、TR-1082(第4版:改定)	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: ・Y.4214のダウンストリーム TR制定: ・TR-1082ガイドライン(第4版:改定) ・P-P&P-MPの各ケーブル毎給電仕様省資源に向けた要件 ・W3C Web of Thing (Thing Description和訳)	TS制定: TR制定: ・TR-1082ガイドライン(第4版:改定)	
	セミナー	・IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催(2023/7予定)	・TTCセミナー「IoTエリアネットワークの標準化動向と関連するグリーン化技術の最新動向」開催(7/24) ・TTC共催セミナー「IoTを活用した橋梁・斜面等のモニタリング参考事例」(10/26、11/1)	
④ プロモーション普及推進	記事投稿、講演会	・TTCLレポート2件(セミナー報告、TTC標準紹介1件)	・TTCLレポート2件(セミナー報告)	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

伝送網・電磁環境専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	[SWG1301]大容量伝送網の新たな管理技術としてのTransport SDN制御アーキテクチャのTTC標準化と進展著しいAI/機械学習技術等、新技術の光伝送網適用可能性と国際標準化戦略検討。 [SWG1302]5G等収容伝送網(MTN)、400G超高速OTN及び次期高精度時刻同期関連の国際標準化動向情報共有と標準化推進、5Gを支える伝送網に関するTTC標準技術文書化(Flexible OTN等)。 [SWG1305] 通信システム(アグリゲーション装置)の設置状態でのエミッション確認方法のTTC標準化。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・光ファイバ伝送およびアクセス網委員会・物理層IFの連携			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP3 (2023年4月、11月) ITU-T SG5 WP1 (2023年6月、11月)	ITU-T SG15 WP3 (2023年6月、11月) ITU-T SG5 WP1 (2023年6月、11月)	
② ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	3件 [SWG1301] ・JT-G7701((仮)トランスポートネットワーク管理)新規(2023/4Q) [SWG1302] JT-G709.3(フレキシブルOTN長短距離インタフェース)新規(2023/2Q) [SWG1305] ・大型・大電力容量通信システムの設置状態での試験法(CISPR TR 16-2-5)のTTC標準化(2023/2Q)	件 [SWG1301] ・JT-G7701((仮)トランスポートネットワーク管理)新規(2023/4Q) [SWG1302] JT-G709.1(フレキシブルOTN共通エレメント)改訂(2024/1Q)の作業推進	
	セミナー			
④ プロモーション普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告【SWG共通】	TTCLレポート vol.38 No2:TTC標準類制定状況 伝送網・電磁環境専門委員会 TTCLレポート vol.38 No2:ITU-T SG15 (Transport, Access and Home) 第2回本会合 TTCLレポート vol.38 No3:ITU-T SG5 (Environment, climate change and circular economy) 第3回本会合	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

アクセス網専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	[SWG2401] ・アクセス網を媒体に問わず、光ファイバによる無線区間以外の有線ネットワーク全般ととらえ、特に次世代移動体網のフロントホール/バックホールにおけるアクセス網の問題点を検討し、必要に応じてITU-T SG15 Q2で議論されている次世代光アクセスシステムへのアップストリーム活動の実施。 ・G.hspやG.suppl文書で移動体網の伝送に光アクセスシステムを活用するための個別テーマでの検討が進んでおり、その検討状況について調査し、寄書を行った。 ・次世代光アクセス網SWGでは、6Gに向けての100G超の次世代光アクセス技術への寄書を実施した。 [SWG2402] ・ハイブリッドアクセス網SWGでは、G.fast等の新規技術の調査するとともに海外の導入事例等の調査継続。また、スペクトル管理標準に関しては新たな課題の出現時は個別に対応。			
	関連する専門委員会または外部組織とその内容 ・5G及び6Gとの連携を深めるために3GPP専門委員会及び光ファイバ伝送専門委員会の活動を考慮した対応を実施した。			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP1 (2023年4月):2件 ITU-T SG15 WP1 (2021年11月):2件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP1 (2023年**月)年2回予定	ITU-T SG15 WP1 (2023年4月):2件 ITU-T SG15 WP1 (2023年12月):2件	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー (2021年4Q)【SWG共通】	本年度はセミナー開催見送り	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告【SWG共通】	本年度はセミナー開催見送りのため、TTCLレポート作成なし予定。	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

光ファイバ伝送専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・G.650.1(線形パラメータ試験法)、L.250(NWトポロジ)、L.340(地下設備の保守)、G.698.1/2/4(DWDM単一ch-IF)、G.959.1(光トランスポートIF)改訂、G.698.5/698.6(O帯DWDM-IF)新規標準化、並びに関連寄書の投稿(SG15、2023年3Q) ・JT-L250(NWトポロジ)新規制定、およびJT-GSup41(海底システムデザインガイドライン)改訂(2022/4Q予定) ・物理層IF標準に関するセミナー開催(2024/1Q予定)			
	関連する専門委員会または外部組織とその内容 ・伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携 ・IEC TC86国内委員・物理層標準の連携			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	31件(4月会合8件、11月会合23件)	
	外部会合への参加・連携状況	-ITU-T SG15 WP2 (2023年4月、11月(仮)) -IEC TC86国内委員との連携	-ITU-T SG15 WP2(2023年4月/11月会合) -IEC TC86国内委員との情報共有(適時)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	JT改訂:2件 ・JT-GSup41改訂(2023/4Q) ・JT-L250制定(2023/4Q)	JT改訂:2件 ・JT-GSup41改訂(2023/3Q) ・JT-L250制定(2024/1Q予定)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・物理層IF標準の動向と展望など(2023/4Q)	TTCセミナー ・光線路技術の標準化動向(2023/1Q) ・物理層IF標準の動向と展望など(2024/1Q予定)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	・TTCLレポート(2023年4月SG15会合報告) ・TTCLレポート(2023年11月SG15会合報告)	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

国際連携AG(含TSAG対応TF)

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(5月および1月)に向け、ITU-T次会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けた国内議論継続 IRM会合(1月)に向け、APTにおけるWTSA準備会合(4月予定)における日本提案の策定への貢献 GSC会合(4月)、CJK会合(時期未定)におけるTTCの戦略報告、新規トピックスの寄書による貢献、動向把握・議論推進 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 上記に向け、各SG役職者との連携強化 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	TSAG(2件)、APT(1件)、GSC(2件)、CJK(2件)	TSAG(3件)	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(6月および1月)に向けて、日本対処方針策定、日本寄書案作成への協力を行う。 APT WTSA準備会合(4月予定)に向けて、日本対処方針策定、日本寄書案作成への協力を行う。 CJK18会合およびGSC23会合に参加し、TTCの最新活動の報告、重点テーマに対するTTC寄書発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(12月)において、日本寄書、ならびに日本対処方針策定。 GSC23会合(4月@ロンドン)にTTC岩田氏が参加しプレゼン、動向把握。 CJK18会合は、引き続きコロナ禍の影響があり実施できなかった。 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: TR制定:	
	セミナー	TTC大使報告会	TTC大使報告会実施(2/10)	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> TSAG会合報告(2回) APT WTSA準備会合報告 GSC-23会合報告 CJK18会合報告 	TSAG会合報告およびWTSA-24準備会合報告実施	

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名

技術調査AG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新規調査フォーラムの選定にあたっては、近年団体の設立が相次いだデジタルツイン・メタバース関連から5フォーラムを新たに調査対象とした。これらの活動はまだ未知数であるが、しばらく継続して調査したい。 Beyond5G/6G、NFT、IoT関連からそれぞれ1フォーラムずつ新規に調査対象とした。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> すべての専門委員会から新規調査フォーラムについての提言を受け付けている。 調査結果について、企画戦略委員会を通じて、各専門委員会へのフィードバックを行った。 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	なし	-	
	外部会合への参加・連携状況	なし		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
	TS/TR/SR			
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
	セミナー	企画戦略委員会中間報告	企画戦略委員会中間報告(12/21)	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム調査報告書 第30版 TTC Report 投稿 	<ul style="list-style-type: none"> 以下はQ4実施予定 フォーラム調査報告書 第30版 TTC Report 投稿 	

寄書審議状況

専門委員会	寄書数	提案先
マルチメディア応用	27 件	ITU-T SG16(Multimedia)(IPTV, ILE,e-health, アクセシビリティを含む)
コネクテッド・カー	1 件	ASTAP
BSG	1 件	ASTAP
IoT・スマートシティ	2 件	ITU-T SG20(IoT, smart cities & communities)
ICT と気候変動 SWG	1 件	ITU-T SG5(Environment and circular economy)
セキュリティ	25 件	ITU-T SG17(Security)
網管理	6 件	ITU-T SG12(Performance, QoS & QoE)
番号計画	8 件	ITU-T SG2(Operational aspects)
信号制御	12 件	ITU-T SG11(Protocols and test specifications)
Network Vision	5 件	ITU-T SG13(Future networks (& cloud))
伝送網・電磁環境	9 件	ITU-T SG15(Transport, access and home), ITU-T SG5(Environment and circular economy)
アクセス網	2 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
光ファイバ伝送	23 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
国際連携 AG	4 件	ITU-T TSAG

TTC 標準の制改定状況

専門委員会名	制改定年月日 (標準化会議)	制改定した標準の番号とタイトル
信号制御	2023.5.18 (第 141 回)	JJ-90.27(改定 第 2.2 版) 着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕様
		JJ-90.28(改定 第 4.2 版) 緊急通報呼に関する NNI 仕様
		JJ-90.30(改定 第 11 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
伝送網・電磁環境		JT-G872(改定 第 2 版) 光伝送網のアーキテクチャ
光ファイバ伝送		JT-L100(新規 第 1 版) ダクト・トンネル用光ファイバケーブル
Network Vision		2023.11.9 (第 143 回)
	2024.2.15 (第 144 回)	JT-Y3802(改定 第 2 版) 量子鍵配送ネットワーク 機能アーキテクチャ
		JT-Y3803(改定 第 2 版) 量子鍵配送ネットワーク - 鍵管理
		JT-Y3804(改定 第 2 版) 量子鍵配送ネットワーク - 制御と管理
網管理		JT-M3080(新規 第 1 版) AI 拡張テレコム運用管理フレームワーク(AITOM)

(1)仕様書の制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	仕様書 (件)		
			新規	改定	廃止
oneM2M	2023.4.21	Release4 TP57 会合承認分	1	0	0
信号制御	2023.5.18	TS-1018(改定 第 7.2 版) CUG/PNP に関するインタフェース技術仕様	0	1	0
		TS-1025(改定 第 1.1 版) ISUP 情報のカプセル化に関する技術仕様	0	1	0
3GPP	2023.4.14	Release13~17 TSG プレナリ会合承認分	210	0	0
	2023.7.7	Release11~17 TSG プレナリ会合承認分	194	0	0
	2023.10.5	Release13~17 TSG プレナリ会合承認分	181	0	0
	2024.1.12	Release11~17 TSG プレナリ会合承認分	143	0	0

(2)技術レポートの制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	技術レポート(件)		
			新規	改定	廃止
oneM2M	2023.4.21	Release4 TP57 会合承認分	1	0	0
信号制御	2023.5.18	TR-1088(改定 第 3 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェースシーケンス/メッセージ例	0	1	0
AI 活用	2023.6.1	TR-1099(改定 第 1.1 版) AI 活用時の説明責任に関する事例調査	0	1	0
企業ネットワーク	2023.7.13	TR-1102(新規 第 1 版) WebRTC に関する技術報告書 セキュリティ編	1	0	0
番号計画	2023.9.4	TR-1104(新規 第 1 版) ECC Report 338 CLI Spoofing	1	0	0
光ファイバ伝送	2023.10.3	TR-GSup.41(新規 第 1 版) 光ファイバ海底ケーブルシステム的设计ガイドライン	1	0	0
マルチメディア 応用	2023.10.20	TR-1105(新規 第 1 版) JT-T38 による IP-FAX(Direct)接続の パラメータ推奨条件に関する技術レポート	1	0	0
IoT エリアネット ワーク	2023.10.23	TR-1103(新規 第 1 版) IoT を活用した道路/斜面等のモニタリング 参考事例	1	0	0
	2023.11.16	TR-1052(改定 第 2 版) EMS・アグリゲーションコントローラー-スマート メーター(B ルート)通信インタフェース実装詳細 ガイドライン	0	1	0

	2024.1.9	TR-1082(改定 第4版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電 方式についての実装ガイドライン	0	1	0
	2024.1.31	TR-1082(改定 第4.1版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電 方式についての実装ガイドライン	0	1	0
	2024.2.15	TR-1082(改定 第4.2版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電 方式についての実装ガイドライン	0	1	0
アクセス網	2024.3.19	TR-GSup.75(新規 第1版) TDM-PON を介した 5G スモールセルのバック ホール/ミッドホール	1	0	0
3GPP	2023.4.14	Release16~17 TSG プレナリ会合承認分	3	0	0
	2023.10.5	Release16~17 TSG プレナリ会合承認分	2	0	0
	2024.1.12	Release17 TSG プレナリ会合承認分	1	0	0

(1) 標準類ダウンロード状況(専門委員会別 2023.4~2024.3)

順位	専門委員会	DL回数 合計	TOP1	DL回数	TOP2	DL回数	TOP3	DL回数
1	信号制御	22,046	JJ-90.30	2,948	TR-1007	2,135	JT-Q931	1,058
2	伝送網・ 電磁環境	17,349	JT-G709	1,241	JT-Y1731	1,234	TR- G8275.1	1,201
3	3GPP	10,862	TS-3GA- 36.413(R el11)v11.8 .0	163	TS-3GA- 29.274(R el11)v11.9 .0	147	TS-3GA- 29.230(R el11)v11.9 .0	99
4	マルチメディ ア応用	9,904	JT-T30	1,547	JT- H222.0	724	JT-G711	564
5	企業ネット ワーク	8,921	TS-1023	1,860	JJ-21.10	817	JJ-22.11	611
6	光ファイバ 伝送	5,767	TR- GSup.39	791	JT- G694.1	677	JT-G657	669
7	網管理	4,903	JT-G652	1,143	TR-1054	699	JJ-201.01	448
8	IoTエリア ネットワーク	4,320	TR-1052	608	JJ-300.10	592	TR-1064	317
9	アクセス網	3,167	TR-1079	740	JT-G961	211	TS-1000	156
10	oneM2M	3,012	TS-M2M- 0001v2.1 0.0	68	TR-M2M- 0009v0.7 .0	62	TR-M2M- R3	61
11	セキュリティ	2,272	JT-X1060	1,909	JT-X1051	131	TR-1047	108
12	Network vision	1,960	JT-Y1541	385	JT-X25	122	JT-I411	92
13	コネクテッ ド・カー	838	TR-1068	707	TR-1097	41	TR-1063	26
14	番号計画	811	SR-0067	301	TR-1070	109	JT-E164 Suppleme nt 2	65
15	移動通信網 マネジメント	514	JT-Q931- b	56	TS-3GB- X.S0013- 010-Av1.0	54	JT-Q921- b	35
16	IoT・スマー	139	JT-L1410	84	JT-L1200	55		

	トシティ							
17	BSG	95	TR-1058	95				
18	AI活用	71	TR-1099	50	TR-1091	21		
	合計	96,951						

(2) 標準類ダウンロード状況(TOP20 2023.4~2024.3)

	ドキュメント 番号	最新版制定日	専門委員会	タイトル	DL回数
1	JJ-90.30	2023.5.18	信号制御	IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース	2,948
2	TR-1007	2003.3.14	信号制御	Session Initiation Protocol(SIP)に関する 技術レポート	2,135
3	JT-X1060	2022.4.11	セキュリティ	サイバーディフェンスセンターを構築・運用するための フレームワーク	1,909
4	TS-1023	2022.5.12	企業ネット ワーク	消防指令システム-消防救急無線間共通インターフェ ース仕様	1,860
5	JT-T30	2008.5.29	マルチメデ ィア応用	一般交換電話網における文書ファクシミリ伝送手順	1,547
6	JT-G709	2011.3.1	伝送網・ 電磁環境	光伝送網のインタフェース	1,241
7	JT-Y1731	2021.11.11	伝送網・ 電磁環境	イーサネットの OAM 機能とメカニズム	1,234
8	TR- G8275.1	2017.12.5	伝送網・ 電磁環境	「ネットワークからフルタイムサポートでの位相/ 時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコ ムプロファイル」の技術レポート	1,201
9	JT-G652	2018.5.24	網管理	シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	1,143
10	JT-Q931	1999.4.22	信号制御	ISDNユーザ・網インタフェース レイヤ3仕様	1,058
11	TR- IEEE802.3: 2002	2003.1.29	光ファイバ 伝送	100BASE-FX/TX および 1000BASE-LX/TX に関する技術レポート	873
12	JS-CISPR- 35	2020.5.21	伝送網・ 電磁環境	マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ 要求事項-	868
13	JJ-21.10	1989.4.28	企業ネット ワーク	PBX等アナログインタフェース(SR方式)	817

14	TR-GSup.39	2017.2.10	光ファイバ 伝送	光伝送システムの開発と技術的考察	791
15	TR-1079	2019.5.30	アクセス網	第5世代移動体通信システムのフロントホールにおける光アクセスに関する技術報告書	740
16	JT-H222.0	2008.8.25	メディア 符号化	映像とオーディオの汎用符号化用システム	724
17	TR-1068	2019.10.30	コネクテッド・カー	自動車の遠隔更新技術の標準化動向と実用化課題	707
18	TR-1054	2018.6.1	網管理	IP電話の通話品質測定ガイドライン	699
19	JT-I430	2000.2.1	伝送網・ 電磁環境	ISDN基本ユーザ・網インタフェース レイヤ1仕様	679
20	JT-G694.1	2012.8.30	光ファイバ 伝送	WDM用途のスペクトル・グリッド:DWDM 周波数 グリッド	677

TTC 主催セミナー・ワークショップ

No.	名 称	年月日 (参加者数) (TTC 会員外)	関連専門委員会等
1	【2023 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「光線路技術の標準化動向 ～次世代ネットワーク実現に向けた光線路標準の動 向～」	2023.5.26 (176 名) (TTC 会員外 105 名)	光ファイバ伝送
2	【2023 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「次世代のルールメーカー の育成とキャリア開発」	2023.6.28 (106 名) (TTC 会員外 46 名)	キャパシティブル ディング AG
3	【2023 年度情報通信月間参加行事】 TTC セミナー 「3GPP Rel-17 NW スライス ワークショップ」	2023.7.5 (508 名) (TTC 会員外 200 名)	移動通信網マネジ メント、3GPP
4	【2023 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー 「IoT エリアネットワークの 標準化動向と関連するグリーン化技術の最新動向」	2023.7.24 (181 名) (TTC 会員外 95 名)	IoT エリアネット ワーク
5	【2023 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「遠隔医療のアクセシビリ ティに関する最新標準技術動向 2023」	2023.7.31 (109 名) (TTC 会員外 72 名)	業際イノベーション 本部、マルチメディ ア応用
6	TTC オンラインセミナー 「スマート農業の最新技術と国際標準化動向」	2023.10.16 (177 名) (TTC 会員外 96 名)	IoT・スマートシティ
7	スマート IoT 推進フォーラム、TTC 共催オンライン セミナー「第 1 回 IoT を活用した橋梁・斜面等の モニタリング参考事例」	2023.10.26 (150 名) (TTC 会員外 92 名)	業際イノベーション 本部、IoT エリア ネットワーク
8	スマート IoT 推進フォーラム、TTC 共催オンライン セミナー「第 2 回 IoT を活用した橋梁・斜面等の モニタリング参考事例」	2023.11.1 (133 名) (TTC 会員外 94 名)	業際イノベーション 本部、IoT エリア ネットワーク
9	量子 ICT フォーラム、TTC 共催オンラインセミナー 「ネットワークアーキテクチャ、高性能コンピュー ティング、情報セキュリティの融合に向けて」	2023.11.21 (235 名) (TTC 会員外 151 名)	Network Vision
10	TTC オンライン Workshop 「第 4 回 ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者による AI 活用研究の発表について」	2023.11.21 (375 名) (TTC 会員外 40 名)	AI 活用

11	TTC セミナー「3GPP 5G が社会・産業界に与えるインパクト ～ローカル 5G, IIoT, NW スライス, 放送・通信融合, 非地上系ネットワーク (NTN) の使い方～」	2024.1.16 (366 名) (TTC 会員外 164 名)	移動通信網マネジメント、3GPP
12	IPSJ・TTC 共催セミナー「GX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けた標準化の最前線と今後の展望」	2024.1.19 (272 名) (TTC 会員外 174 名)	キャパシティブUILDING AG
13	ITSCJ・TTC 共催セミナー「メタバースの標準化動向と最新事例」	2024.2.7 (336 名) (TTC 会員外 228 名)	マルチメディア応用
14	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー「デジュール及びフォーラム標準に関する 国際標準化活動動向調査」(第一回)	2024.2.9 (112 名) (TTC 会員外 67 名)	受託案件
15	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー「デジュール及びフォーラム標準に関する 国際標準化活動動向調査」(第二回)	2024.2.22 (89 名) (TTC 会員外 50 名)	受託案件
16	標準化人材育成オンラインセミナー「国際標準化を活用した研究活性化～事例とノウハウ～」	2024.2.28 (101 名) (TTC 会員外 58 名)	受託案件
17	TTC/CIAJ 共催セミナー「災害時のコネクテッド・カー利用事例と将来展望」	2024.3.7 (179 名) (TTC 会員外 83 名)	コネクテッド・カー

他機関主催セミナー・ワークショップへの後援・協賛

No.	名 称	年月日	主催	種別
1	HATS セミナー2023	2023.5.12	HATS フォーラム	協賛
2	第55回世界情報社会・電気通信日の つどい	2023.5.17	一般財団法人日本 ITU 協会	後援
3	連続セミナー2023「人と AI が共生 する社会に向けた情報技術」	2023年6月 から12月にか けて全12回シ リーズで開催	一般社団法人情報処理学会	協賛
4	ITU 主催 AI / ML in 5G チャレンジ 日本ラウンドウェビナー:「機械学習に 関する招待講演と日本ラウンドの 5G チャレンジ課題の説明」	2023.8.22	ITU	後援
5	CIAJ セミナー「sXGP 方式の今後の 展望(次期制度改正をうけて)」	2023.8.24	一般社団法人情報通信ネット ワーク産業協会	協賛
6	JAPAN Security Summit2023	2023.10.24 ~11.5	JAPANSecuritySummit 2023 実行委員会	共催
7	セミナー「oneM2M Open IoT Industry Day」	2023.12.6	oneM2M	後援

展示会等への後援・出展・講演

No.	名 称	年月日	開催場所	種別
1	ワイヤレスジャパン 2023 x ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2023	2023.5.24~26	東京ビッグサイト	後援
2	Interop Tokyo2023	2023.6.14~16	幕張メッセ	後援
3	CEATEC 2023	2023.10.17~20	幕張メッセ	出展、講演
4	Security Days Spring 2024	2024.3.12~15	JP タワーホール &カンファレンス	後援、講演

2023 年度受賞者一覧

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

- (1)「光ファイバケーブル技術及び災害対応通信技術の標準化への貢献」
日本電信電話株式会社 荒木 則幸 殿

2 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

- (1)「AIの倫理・信頼性の標準化にかかわる功績」
元 日本電気株式会社 江川 尚志 殿
- (2)「移動通信ネットワークアーキテクチャ関連の標準化活動にかかわる功績」
株式会社NTTドコモ 澤田 政宏 殿
- (3)「IMT-2020 and Beyondネットワーク標準化にかかわる功績」
国立研究開発法人情報通信研究機構 Ved Prasad KAFLE 殿
- (4)「W3C Web of Things (WoT) 標準化及びその普及促進にかかわる功績」
株式会社インターネット総合研究所 水島 友昭 殿
- (5)「ITU-Tの標準化戦略策定並びにITU-TとISO/IEC JTC 1との国際連携にかかわる功績」
株式会社日立製作所 三宅 滋 殿
- (6)「光伝送網技術の国際標準化にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 村上 誠 殿

3 功 労 賞

- (1)「通信装置のソフトウェア対策に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電気株式会社 飯塚 浩人 殿
- (2)「Autonomous Networkの実用化に向けた標準化の推進にかかわる功績」
楽天モバイル株式会社 Wong Leon 殿
- (3)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」
ソフトバンク株式会社 表 英毅 殿
- (4)「PSTNマイグレーションに関するISUP情報カプセル化仕様の標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 柏原 幸宏 殿
- (5)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」
沖電気工業株式会社 鹿嶋 正幸 殿
- (6)「oneM2Mに関する標準化活動にかかわる功績」
日本電気株式会社 吉川 恭史 殿
- (7)「標準化格差解消(BSG)に関する標準化の推進にかかわる功績」
富士通株式会社 小林 真弓 殿

- | | | |
|---------------------------------------|----|-------|
| (8)「IoTセキュリティに関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 株式会社日立製作所 | 笹 | 晋也 殿 |
| (9)「コネクテッド・カーに関する標準化の推進にかかわる功績」 | | |
| 株式会社デンソー | 鈴木 | 邦一 殿 |
| (10)「伝送網の装置機能及び管理に関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 日本電気株式会社 | 高島 | 和也 殿 |
| (11)「マルチメディア応用に関する標準化の推進にかかわる功績」 | | |
| 日本電信電話株式会社 | 長尾 | 慈郎 殿 |
| (12)「IoTエリアネットワークに関する標準化の推進にかかわる功績」 | | |
| 日本電信電話株式会社 | 西川 | 嘉樹 殿 |
| (13)「通信装置のEMCに関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 株式会社NTTドコモ | 東山 | 潤司 殿 |
| (14)「アクセス網システムに関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 沖電気工業株式会社 | 古沢 | 聡 殿 |
| (15)「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 通信電線線材協会 | 細川 | 宰 殿 |
| (16)「3GPPに関する標準化の推進にかかわる功績」 | | |
| シャープ株式会社 | 増田 | 陽子 殿 |
| (17)「IoT・スマートシティに関する標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 | 三藤 | 米利紗 殿 |
| (18)「AI倫理に関する調査・分析にかかわる功績」 | | |
| KDDI株式会社 | 宮澤 | 雅典 殿 |
| (19)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」 | | |
| 日本電気株式会社 | 山田 | 徹 殿 |

III. 附属明細書

2023 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき事項はなし。